

第1 作成の趣旨

三河山間地域は、人口の減少や高齢化の進展など厳しい状況にありますが、新東名高速道路や三遠南信自動車道の整備など、この地域の地理的条件を大きく変化させる可能性を秘めたプロジェクトが進展しつつあります。

また、農山村に対する関心の高まりなど、この地域に活性化の機会をもたらす時代の潮流も認められます。

こうしたプロジェクトの効果や時代の潮流の変化から生み出されるチャンスを最大限に受け止め、地域の活力を再構築するため、県は、平成21年3月に、三河山間地域の長期的・総合的な振興の指針となる「あいち山村振興ビジョン～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築～」を策定しました。

このビジョンでは、2025年までを展望したうえで、4つの目指すべき将来像を設定し、これらの将来像を実現するため、目標年次である2015年までの期間において、県が重点的に展開していく6つの施策の方向性を明らかにしました。

施策の展開にあたっては、地域住民はもとより、企業、大学、NPO、ボランティアの方々など様々な主体との多層的な連携並びに都市地域を含む広域的な連携が不可欠です。

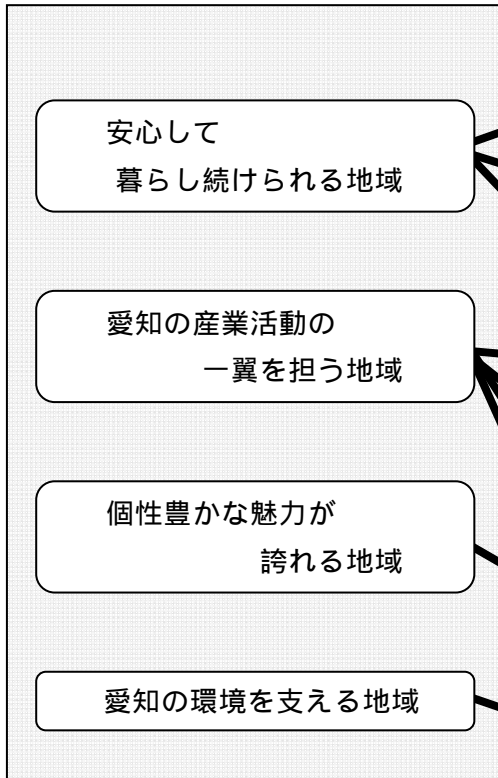
そのため、ビジョンに位置付けた施策の2009年度の主な取組状況をまとめた「あいち山村振興ビジョン 年次レポート 2010～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築状況報告～」をホームページを通じて情報発信し、多層的、広域的な連携主体と情報の共有や認識の統一を図ってまいります。

ビジョンの対象地域

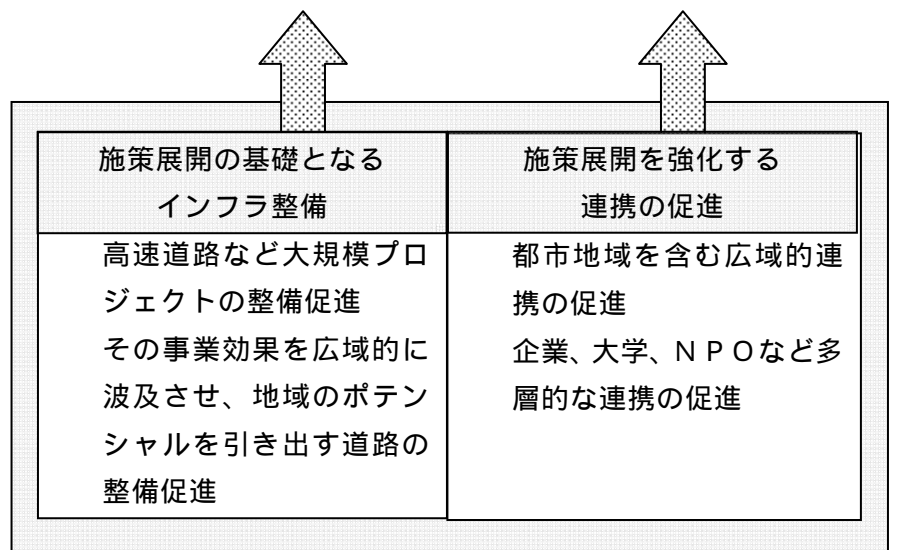
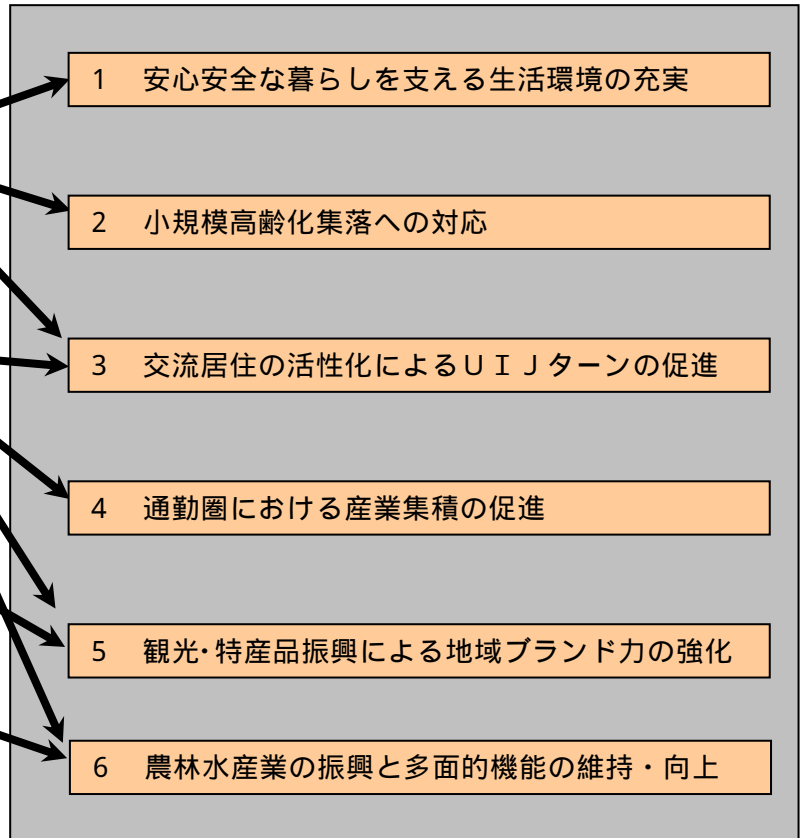


めざすべき将来像と重点的に展開する施策

[めざすべき将来像]



[重点的に展開する施策]



第2 2009年度の主な取組状況

1 将来像に向けた施策展開の基礎となるインフラ整備 [地域のポテンシャルを引き出す道路整備等の促進]



< 主な取組状況 >

新東名高速道路、三遠南信自動車道の整備に向けて用地買収や工事等を実施
国道151号三輪バイパス（平成21年10月7日）、新城バイパス（平成22年3月26日）の開通
設楽ダム建設のための生活再建工事、水源地域対策



三輪バイパス



新城バイパス

2 将来像に向けた施策展開を強化する連携の促進

[都市地域を含む広域連携の促進]

<主な取組状況>

愛知県交流居住センターが都市住民と三河山間地域5集落との交流イベントを実施（交流回数 30回 参加人数 1,097人）

県境を跨ぐ連携として長野県との観光キャンペーンの検討や三遠南信地域の特産品キャンペーンへ参画



都市住民との交流イベントの様子（左：田植え、右：稲刈り）

[多層的な連携の促進]

<主な取組状況>

中日本高速道路株式会社ホームページ「高速日和」とブログ「三河の山里だより」の連携により地域情報を発信

コンビニエンスストアとの包括協定締結

市町村や大学などと連携して、「山里のアート巡り きてみん！奥三河」の構想策定

行政（町村、国、県）、名古屋大学、交通事業者、住民及びNPOとの連携により北設楽郡地域公共交通総合連携計画を策定

きてみん！奥三河	区分	各イベントの名称
	広域展開事業	アートの森(若手アーティストなどの作品展示)
		山里百景(奥三河の知られざる名所の紹介)
		手づくりチャレンジ(参加型の文化体験プログラムの提供)
		アートインキュベーション(若手アーティストの育成)
		パケコン 2010(地元特産品のパッケージデザインのコンテスト)
		フレンドシッププロジェクト(地域の文化芸術イベントとの連携)
	シンボル事業	きてみん！奥三河 in 茶臼山(2日間の屋外イベント)
	交流人口拡大事業	スタンプラリー(奥三河の周遊促進イベント)
奥三河かかしコンテスト(住民参加イベント)		

きてみん！奥三河の事業構成

平成 22～23 年度で実施。事業の詳細は <http://kitemin.jp/>

3 重点的に展開する施策

(1) 安心安全な暮らしを支える生活環境の充実

ア 交通体系を再構築する

< 主な取組状況 >

北設楽郡 3 町村等による「地域公共交通総合連携計画」の策定と町村を跨いで運行する基幹バスの実証実験を開始

取組前と取組後の比較



町村間を乗継なしで結ぶ直通便が、実証実験により、延べ 15 便運行され、郡内唯一の東栄病院への豊根村からの通院時間は最大 30 分短縮。

イ ネットワークにより保健・医療・福祉を支える

<主な取組状況>

夜間照明設備を備えた山間地域救急搬送ヘリポートを設楽町に新たに整備

医療機関の機能分担と相互連携を推進するための会議を開催

愛厚ホーム設楽苑の改築への支援

健康相談や健康教育など健康づくり施策に対する支援

簡易水道整備事業への助成等



設楽町に整備されたヘリポート



愛厚ホーム設楽苑

ウ 安心して子育てできる環境をつくる

<主な取組状況>

山間地域の強みである地縁によるネットワークを活かした子育て支援サービスを働きかけ

子育て家庭優待事業「はぐみんカード」の実施市町村の拡大を促進

三河山間地域の市町村が実施する住民参加イベントにおいて、男女共同参画に関する啓発パンフレットを配布



子育て家庭優待制度の仕組み

エ 地域に根ざした教育を支援する

< 主な取組状況 >

田口高校への通学における利便性を高めるための交通手段として基幹バスの実証実験を開始（再掲）

へき地の小規模校が協同して行う集合学習や交流活動への支援

北設楽郡の公共交通体系の再編の効果

田口高校への通学について

< 豊根村から >

登校：直通便運行により1時間3分が50分に13分短縮

下校：昼間、夕方に乗継便各1便増便

運賃：定期代が1ヶ月31,750円が15,000円に減額

< 東栄町から >

登校：直通便運行により43分が41分に2分短縮

下校：昼間に乗継便1便増便

運賃：定期代が1ヶ月14,700円が9,000円に減額

オ 情報格差を是正する

< 主な取組状況 >

豊田市においてCATV網整備を支援

設楽町・東栄町・豊根村で地域公共ネットワークFTTH（ファイバー・トゥ・ザ・ホーム）による地上デジタル放送の受信環境や超高速ブロードバンド環境の整備を支援

設楽町、東栄町、豊根村で携帯電話の受信エリア拡大を支援

電子調達システムの共同運営による電子自治体の推進

産業面におけるIT化の強化を図るため、農業者に対するパソコン教室を開催



新設された携帯電話基地局（設楽町田峯地区）

カ 基本的な消費生活を支える

<主な取組状況>

市町村が行う商店街活性化事業等がんばる商店街推進事業で支援
(豊田市・新城市・東栄町)

商工会等の経営指導員を対象とする商業エキスパート指導員養成研修を開催

自動車等の移動手段を持たない高齢者などの消費生活を支えるための宅配サービスや移動型販売などについての実態調査を実施

がんばる商店街推進事業の活用状況

市町村名	地区名(実施主体)	事業内容
豊田市	大沼地区(下山商工会)	歩道の整備、朝市の実施、案内看板の設置
	足助地区(足助中央商店街協同組合)	年末売出催事の実施、商店街マップの作成、中馬なごやか市の実施
	足助地区(足助商工会)	足助夏まつりの実施
	稲武地区(稲武商工会)	地域バスとタイアップした商店街利用促進と宅配サービスの実施
新城市	大野地区(鳳来商工会)	街路灯の設置、防犯活動の実施、防犯マップの作成
東栄町	東栄町全域(東栄町)	防犯カメラの設置、防犯活動の実施

キ 防災対策を強化する

<主な取組状況>

中山間地等における孤立集落発生の可能性に関する状況調査を実施
治山施設の整備、砂防事業の実施

土砂災害情報システムの機能強化や住民参加型の防災訓練の実施



新たに整備された治山ダム(豊根村)

(2) 小規模高齢化集落への対応

ア 集落機能の維持・再生に向けた新たな仕組みをつくる

< 主な取組状況 >

市町村と小規模高齢化集落が共同で行う集落機能の維持に向けた取組を支援

愛知県交流居住センターによる情報提供を通じ、交流居住の受入集落の拡大を促進

平成 21 年度小規模高齢化集落支援事業

市町村名	事業内容
豊田市	地域資源を生かしたコミュニティ・ビジネスの構築、新しい特産品の開発、講習会の開催(豆腐づくり) 都市部住民との交流居住事業(収穫祭) 集落再生に向けた調査研究
新城市	獣害対策(イノシシ捕獲の実証実験等) 直売所の設置に向けた調査研究
設楽町	都市部住民向け体験交流事業 集落連携によるミニデイサービス、環境美化活動
豊根村	移住希望者向け集落紹介パンフレットの作成、集落PR活動
北設楽郡	花祭PRパンフレットの作成及び普及活動
豊根村	花祭の保存・継承活動(伝承冊子等の収集、研修会開催)

(3) 交流居住の活性化によるU I J ターンの促進

ア 愛知県交流居住センターの機能を強化する

< 主な取組状況 >

交流居住に関する問合せ・相談に対応するとともに、市町村と連携し受け入れ地域の案内など、きめ細やかな対応を実施するため、愛知県交流居住センター(以下「センター」という。)に専従職員を1名配置

センターのホームページを通じて、交流イベント情報、住宅情報、農地情報、就労情報、観光情報、特産品情報など都市住民のニーズに合った情報を発信

交流居住を行っている、又は今後行おうとしている都市地域の住民や団体をネットワーク化

イ 交流居住の受入先を増加させる

< 主な取組状況 >

センターと地元自治体との連携による「空き家バスツアー」を実施

開催場所：設楽町田峯、名倉、田口

交流居住に向けて取り組む集落をコーディネート

就農相談会や林業労働力確保支援センターとの連携による林業就業前研修を実施

愛知県商工会連合会が設置した「三河山間地域産業活性化支援事業連絡会議」に参画

農業大学校による生産技術や経営に関する研修を実施

定年を迎える団塊世代向けの帰農者研修会を実施



愛知県交流居住センターのホームページ



空き家バスツアーの様子

(4) 通勤圏における産業集積の促進

ア IC周辺等の企業立地環境を整備する

<主な取組状況>

額田IC周辺の都市計画区域への編入案の策定

国道473号岡崎額田バイパスの整備

岡崎東部工業団地の西側地区分譲開始



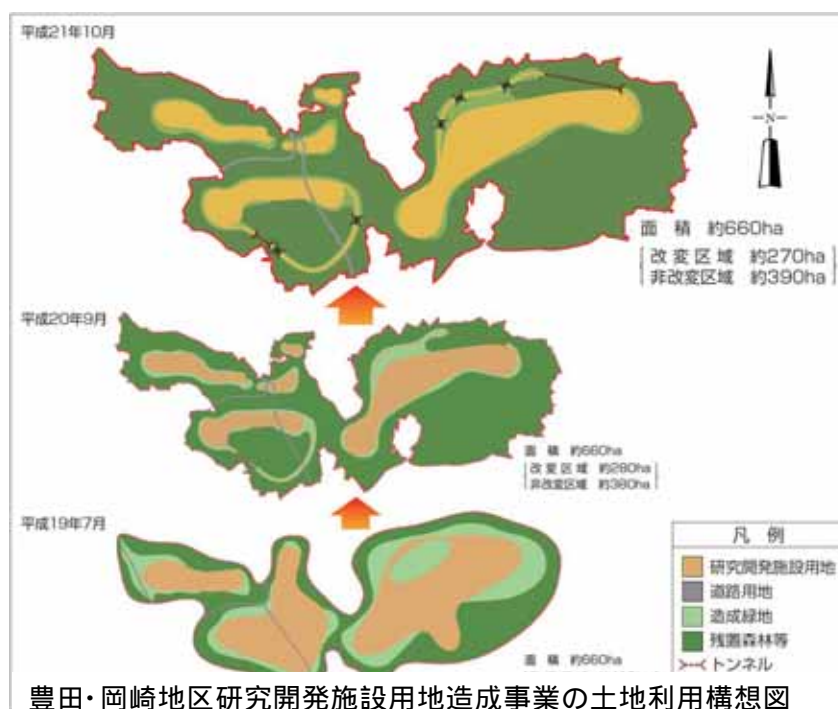
岡崎東部工業団地

イ 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業を推進する

<主な取組状況>

豊田工事事務所の設置

造成計画策定のための調査設計の実施と環境調査の継続



ウ 企業誘致活動を強化する

<主な取組状況>

企業立地優遇制度をパンフレットやホームページなどによりPR
三河山間地域の特色を生かした企業立地計画の承認や事業高度化計画の承認

エ 既存の立地企業を支援する

<主な取組状況>

中小企業緊急対策相談窓口の継続設置や愛知県緊急産業雇用対策を実施
「あいち・出会いと体験の道場」による地域内全公立中学校での職場体験を実施
ファミリーフレンドリー企業への登録を促進

(5) 観光・特産品振興による地域ブランド力の強化

ア 地域資源を磨き上げる

<主な取組状況>

東栄町で「アートの森」開催
花祭の世界無形文化遺産への登録へ向けた映像記録の撮影やシンポジウム開催
点在する三河山間地域における文化芸術資源を面で結ぶことで奥三河ブランドの確立を目指す「山里アート巡り きてみん！奥三河」の構想策定
観光まちづくり会議の開催や、「芝桜の丘」を巡る周遊コースについての観光事業者への働きかけや商品造成を実施



芝桜の時期に賑わう茶臼山高原

イ 観光・特産品のプロモーションを強化する

<主な取組状況>

愛知県産業労働センター(ウインクあいち)や中日ビルへのアンテナショップの出店、豊橋の大規模集客施設での特産品キャンペーンなど都市地域における情報発信機能を強化

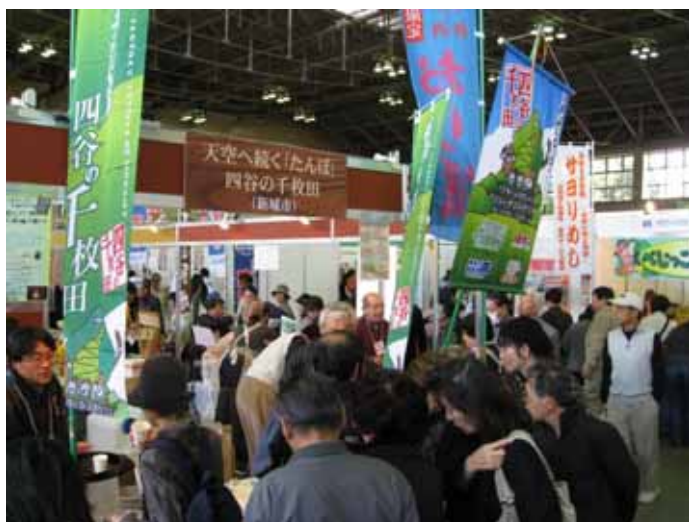
特産品を活用した新商品開発や新たな販路拡大に向けた農商工連携ビジネスフェアを実施

集客力のある施設への情報ステーションを設置

「愛知グルメ図鑑」を作成

ふるさと農林水産フェア・三河の山里体感プラザを開催し、特産品や観光資源をPR

「みねはるか」の特別栽培米生産技術の実証研究を実施



三河の山里体感プラザの状況



特産品キャンペーンの状況(豊橋市)

ウ 周遊性を強化する

<主な取組状況>

観光まちづくり会議を通じたの広域的な観光ルートの検討やグリーンツーリズムモデルルートをPR

標識や公衆トイレ設置への支援

奥三河の景観を生かした産業観光やゆかりの武将など広域的なテーマ設定による観光マップを作成

茶臼山高原における体験型観光実証実験を実施

(6) 農林水産業の振興と多面的機能の維持・向上

ア 地域の特性を生かした農林水産業を推進する

<主な取組状況>

いもち病に強く食味の良い中山間地域に適した水稻品種「中部125号」を開発

有害鳥獣捕獲及び被害防止に係る対策を支援するとともに、2地域でモンキードックの効果測定が行われ、サルによる被害が激減

農業に参入する意向を持つ企業に対し支援を行っていくための相談デスクを設置

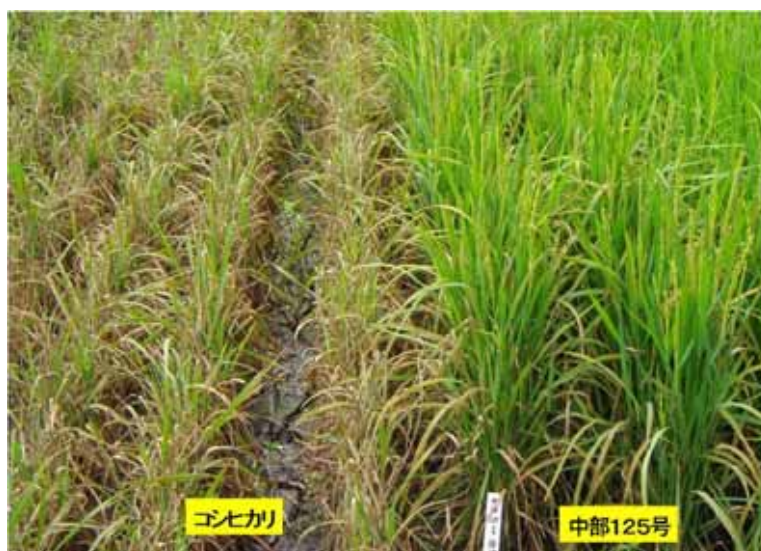
GAP手法の導入やエコファーマーの育成

郷土料理や地場産物を活用する学校給食「愛知を食べる学校給食の日」を三河山間地の全ての市町村で実施

中山間地域等直接支払制度の取組によって、各集落の共同作業が維持強化されることなどにより、農業生産振興と耕作放棄の防止に効果

広域営農団地農道整備事業奥三河地区の推進により、農産物流通を効率化

農地環境整備事業の推進により、地域の生産基盤を整備



いもち病抵抗性試験の状況（左:「ゴシヒカリ」、右:「中部125号」）

（左の「ゴシヒカリ」はいもち病に弱い、右の「中部125号」はいもち病に極めて強い）

イ 林業を振興し、森林を整備する

<主な取組状況>

山林の境界確定を実施するとともに、山林所有者等が行う境界の明確化などの地域活動を支援

木材関係団体と連携しながらのプロジェクトの実施、あいち木づかいプランの策定

木質バイオマスの利用技術等について事業説明会や各地の事例について

の情報収集

農林家の短期的収入を確保しやすいきのこ類などの特用林産物について
生産技術研修会や試験研究の発表

「あいち認証材」制度の普及

「あいち森と緑づくり税」を活用した人工林の間伐や里山林整備

通常より作業条件の悪い「あいち森と緑づくり事業」の間伐に従事するため
に必要な技術・技能を習得させる研修の実施



「あいち森と緑づくり税」を活用した人工林整備事業（新城市：県道 436 号沿い）
（左が間伐前、右が間伐後）

ウ 自然環境と生物多様性を保全する

< 主な取組状況 >

生態系保全モデル事業の実施

「あいち森と緑づくり税」を利用した保全活動や環境学習などに対する
支援

愛知県農業農村整備事業動植物保護対策マニュアルに基づく農業農村整備
事業の実施

生物多様性キャラバンセミナーを東栄町で開催



生物多様性キャラバンセミナーの様子（東栄町）